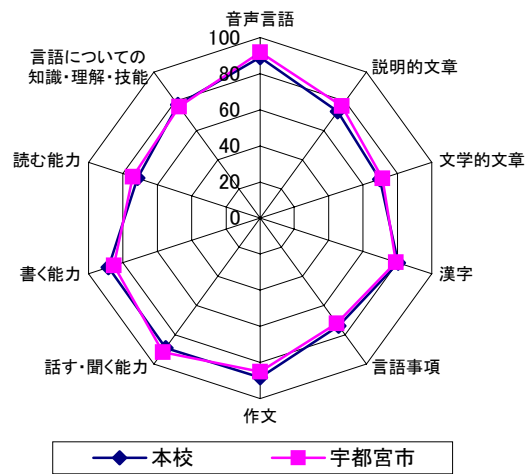


宇都宮市立宝木小学校第4学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	音声言語	89.1	91.8
	説明的文章	73.1	76.8
	文学的文章	69.7	71.3
	漢字	80.4	79.1
	言語事項	73.7	72.2
	作文	88.2	85.2
観点別	話す・聞く能力	89.1	91.8
	書く能力	88.2	85.2
	読む能力	71.4	74.1
	言語についての知識・理解・技能	77.7	76.3



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
音声言語 (89.1%)	・平均正答率は、話す・聞く能力が市平均正答率をわずかに下回っている。話題の沿った質問に誤答が多かった。	・各教科の授業や日常生活において話を聞くことに重点をおいてきたが、聞き取った内容から自分の考えと比べたり、質問したりできるようさらに、支援していきたい。
説明的文章 (73.1%)	・平均正答率は、市平均正答率をやや下回っている。文脈に即した内容に誤答が多かった。しかし、段落と段落の関係は市平均よりも正答率が高い。	・国語の説明文の学習で、筆者の意図をきちんと読み取らせ、接続語に着目させて文脈にあった内容を考えさせるようにしていく。説明文の形式について、繰り返し理解させる。
文学的文章 (69.7%)	・文章の中の省略された主語を考えたり、指示語の内容に誤答が多い。登場人物の心情を読み取りは市平均よりも上回っている。	・国語の物語の学習では、文章に沿って考える習慣をつけるとともに、登場人物の心情や表現のすばらしさに気づかせる。読書活動を多く取り入れ、読書会などの時間も設けたい。
漢字 (80.4%)	・平均正答率は、市平均正答率とほぼ同等である。3年生までの漢字の読み書きや4年生の漢字の読みは市平均正答率より高く、4年の漢字の書きが低い。	・漢字ドリルを利用して、へんや作りに着目させ、筆順を正しく書くことを意識して練習させる。成果を確認できるように小テストを実施し、繰り返し定着を図る。さらに習った漢字をの使い方も指導していく。
言語事項 (73.7%)	・平均正答率は市平均よりわずかに上回っている。漢字の画数や主語・述語の関係はよくできているが、文章の中の句読点を打つ箇所を約半数の児童が理解していない。	・文章を句読点を意識して音読したり文の意味を考えたりする学習や文法や表記についての練習問題を行い習熟させていく。
作文 (88.2%)	・平均正答率は市平均よりわずかに上回っている。礼状の書き方の形式をよく理解している。	・お世話になった人への手紙を書く機会を設け、形式を理解させながら、適切な内容の手紙が書けるよう指導していく。